

「地域みらい留学」について

○県外からの入学

現在、県外から県立高校への志願者については、スポーツ特別選抜を実施する高校や地域の小規模校等において、「保護者の転住を伴わない県外からの入学志願に関する要項」に基づき、一定の上限内（定員の5%以内、小規模校は募集人数に満たない場合、上限を超えることができる）で入学者選抜が実施されている。

○地域みらい留学

主 催：（一般財団法人）地域・教育魅力化プラットフォーム

※共催：島根県教育委員会 後援：内閣府、総務省、文部科学省

事業概要：「地域みらい留学」とは都道府県の枠を越えて、社会課題の先進地である地域の学校に入学し立場や世代を越えた多様な人々と充実した3年間を過ごすこと。中学生と保護者等に向けてオンラインと対面で説明会を実施。

参加高校：全国より89校（令和4年度）

参画費（登録料）：88万円（税込）

○三重県からの参加校

・ 昴学園高等学校（令和元年度から参画）

大台町 総合学科、全寮制、募集定員80人

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
入学者数	65	53	59	72
地域みらい留学を利用した県外からの入学生	—	3	9	7
欠員	15	27	21	8

全寮制である昴学園高校の生徒は、地元の大台町、大紀町、多気町以外は県内全域や県外の中学校出身

・ 飯南高等学校（令和2年度から参画）

松阪市飯南町 総合学科、募集定員80人

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
入学者数	80	78	77	79
地域みらい留学を利用した県外からの入学生	—	—	0	0
欠員	0	2	3	1

飯南高校の生徒の大半は、飯南・飯南高等学校、旧松阪市内中学校、多気郡内中学校出身。通学手段については、学校周辺は徒歩や自転車であるが、それ以外はバスに限られている。

飯南高校・昴学園高校 地域での教育活動

【総合学科】三重県立飯南高等学校

■育てたい生徒の力

自ら考え挑戦したり、多様な価値観を持つ人々対話・協働したりしながら、地域への愛着を持って、地域に貢献し、地域の未来を切り拓くことのできる地域に根ざした人材

- ①地域に飛び出し、地域住民や職業人等、様々な立場の人々、世代を越えた人々の思いや考えを聴き取り共感しながら、コミュニケーションできる力【対話力】
- ②地域の伝統文化や産業、魅力等について調べたり体験したりすることを通じて、課題や改善点を把握・整理する力【追究力】
- ③自らの技術を磨き、他者とかがわり合いながら、仮説を立て、地域課題の解決に向けた取組や活動を創造する力【創造力】
- ④地域課題を解決するための具体的な提案や活動等を効果的に発信する力【発信力】

■授業の概要（令和3年度）

年次	学科・系列	人数	授業名	単位数
1年次	学年全体	77人	産業社会と人間 + 各教科での学び	2
2年次	学年全体	75人	キャリアデザイン+各系列の学び+各教科での学び	1
3年次	学年全体	79人	いいなんゼミ（総合的な探究の時間） +各系列の学び+各教科での学び	3

■大まかな流れ

【1年次】

（産業社会と人間）

- 2回のフィールドワークをとおして自ら課題を設定し、解決する力を身につける。
- 4系列の体験をとおして、自己の進路について考える。
- 大学見学や企業説明会など充実を図る。
- 発表会を実施し、プレゼンテーション能力の向上を図り、発信力を養う。
- 飯南高校の掲げる4つの力（対話力、追究力、創造力、発信力）を身につける。
 - ・ワークショップ：仲間づくり
 - ・目標づくり：前年度3年次のいいなんゼミの発表を鑑賞
 - ・校長講話「なぜ地域で探究なのか？」等の講演を行う
 - ・地域の調べ学習（松阪・多気地域等）
 - ・フィールドワーク事前指導、作戦会議等
 - ・フィールドワーク（第1回） 飯南飯高地域の8地区を16グループで散策
⇒ フィールドワークの活動内容について魅力マップを作成
 - ・キャンパスインターンシップ ⇒ 発表会
 - ・フィールドワーク（第2回）事前指導、作戦会議等
 - ・フィールドワーク（第2回） 第1回と別地区に行くことで、疑問や関心をさらに深める
 - ・第2回フィールドワーク発表会 関わっていただいた方々にも参加を呼び掛ける
 - ・かけ算プロジェクト ⇒ 発表会 関わっていただいた方々にも参加を呼び掛ける
 - ・企業講演会

【2年次】

キャリアデザインは、「産業社会と人間」と「いいなんゼミ」をつなぐ、地域課題解決型キャリア教育の中間点と位置付けている。企業見学会や外部講師による講演会での出会いや、インターンシップで仕事に触れながら、リアルに地域社会で生きることを考える力を身につけていく。また、修学旅行で得た知識を比較したり、楽しいなんゼミで考えを深め整理したりして、自己の在り方や地域との関わりを認識し、自分づくりを深めていく。

- ・楽しいなんゼミのテーマ設定
- ・楽しいなんゼミ（5～6月）
聴覚障がい者との手話による懇談等
- ・キャンパスインターンシップ
- ・楽しいなんゼミ発表会 関わっていただいた方々にも参加を呼び掛ける
- ・第1回本気の大人講演会 ※地域おこし協力隊
- ・セルフインターンシップ（夏期休業中）：地域への職業インターンシップ
（令和3年度は10社28名）
⇒ 発表会（2学期）関わっていただいた方々にも参加を呼び掛ける
- ・高校生と地元企業との交流会 ※連携中学校2年次も参加
- ・企業見学会
- ・第2回本気の大人講演会



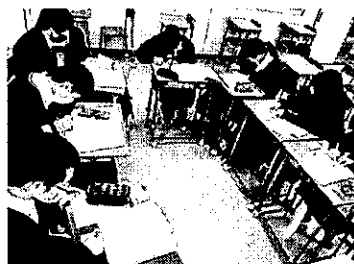
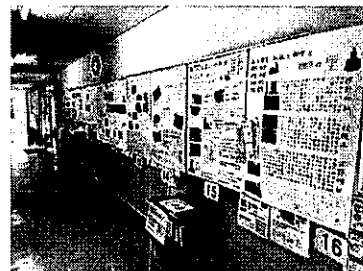
【3年次】

いいなんゼミでは、生徒自らの興味・関心から個人のテーマを自由に設定し、1年間をとおしてそのテーマを調査・研究・作品制作・発表を行い、PDCAサイクルを取り入れた活動をとおして課題解決能力を養う。その過程で授業担当者以外の教職員も一丸となって、地域の方々や専門家の方々が生徒とつながれるよう促してマッチングを図るとともに、伴走者として指導・助言していただけるよう協力を依頼する。教職員は自走する生徒を育て、支援し、伸ばしていけるよう、地域の方々や専門家の方々や生徒の両者を支える役割としてのファシリテーション力が求められる。

- ・「いいなんゼミ」ガイダンス：担当教員とテーマ確認※教員一人につき、8～9人の生徒を担当
- ・年間計画書作成
- ・ゼミ内中間発表会、1学期研究活動報告書作成、夏休み活動計画書作成
- ・夏休み研究報告書作成、年間研究活動計画書の確認・修正
- ・いいなんゼミ報告書作成開始、発表会に向けてのPowerPoint作成、発表練習
- ・ゼミ内最終発表会、学年発表会、展示・実演・ポスターセッション準備等
- ・いいなんゼミ発表会

【その他（課外活動等、多数あり。令和3年度の活動の一部を掲載）】

- ・ 応援団 Circle の活動
 - ・ （一社）未来の大人応援プロジェクトの企画（全国高校生1億円プロジェクト）に参加
 - ・ 打ち上げ花火プロジェクト：約30社の企業等へ文化祭への協力依頼
 - ・ 全国小規模校サミットにオンライン参加（山形県立小国高校主催）
 - ・ 連携中学校文化祭での写真展開催、地域みらい留学での活動報告 等
- ・ 美術部の活動：緑茶ラテアート体験教室開催、茶畑アートプロジェクト（深緑茶房との共催）
- ・ 吹奏楽部の活動：ハナノキコンサート（学校のシンボルツリー前で開催）で地域の方々と交流
- ・ その他：飯南飯高地域で開催される高校生地域創造サミット2021で司会および地域紹介を担当など



【総合学科】三重県立昴学園高等学校

■育てたい生徒の力

①「産業社会と人間」（1年次）

フィールドワークなどで得られた「学び」をICTを用いてプレゼンテーションする力
 地域の人々との関わりをとおして、職業に対する理解を深め、自らの生き方について主体的に考える力

②「ナイトスクール」（課外活動）

働くことの意義、夢を持つことの大切さ、地域社会の一員として生きていくことの意味など、講師の講演を通して、自らの将来像について考える力

③「寮生ワークショップ」（課外活動）

責任を持って最後までやりきる力
 仲間と協働しながら一つの目標に向かって努力する力
 計画を立てて、締切を守るやICTを活用できる知識と力

④「昴版自然環境リテラシー」（課外活動）

体験をとおして自然の美しさを学び、そこから自然の保全、環境問題や持続可能な利活用を理解し考える力

■授業の概要（令和3年度）

年次	学科・系列	人数	授業名
1年次	学年全体	59人	産業社会と人間（2単位）
2年次	学年全体	51人	国際交流系列・総合スポーツ系列・美術工芸系列
3年次	学年全体	58人	生活福祉系列・環境技術系列での学び

■大まかな流れ

【1年次】（産業社会と人間）

- ・大台町いいところ探し：町役場職員からの講義、町内企業の見学、地域住民との交流等を実施し、地域の魅力や地域が抱える課題を発見する。
- ・聞き書き講座：大台町の商工会青年部や地域住民の方々から自身の経験談を聞き、書き、30秒スピーチとしてまとめ、学年の発表会で発表する。
- ・防災体験：自衛隊の協力のもと、「自助」「共助」をテーマにグループ活動を実施し、活動の様子を動画にまとめる。まとめた動画は学習成果発表会で発表し、学校全体で共有する。
- ・書き方講座：履歴書作成等できれいな文字が書けるように、放課後に書道の先生からきれいな文字の書き方を学ぶ学習会を実施する。

【2～3年次】※各系列での学び

2年次以降の総合学科の各系列（国際交流・総合スポーツ・美術工芸・生活福祉・環境技術）において、地域を題材とした発展的な学習につなげる。国際交流系列では、地域の課題解決策をグループで協議する「まちかつ」、環境技術系列では山林活動や林産物利用を考える学習、生活福祉系列では介護の諸問題を体験から学ぶ取組などを実施している。

【生徒寮での活動】

- ・ナイトスクール：寮での夜間の学習時間を利用し、各地域で活躍する方々の講演会を実施
- ・寮生ワークショップ：寮でのイベント等で活用するプロジェクションマッピングの制作を実施
- ・昴版自然環境リテラシー：休日や放課後に大杉谷登山やホテル見学等、自然体験活動を実施 等

